

II. 事業評価個表

番号	措置名		交付金事業の名称		
4	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置		消防施設整備事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		滑川市			
交付金事業実施場所		滑川市魚躬地内			
交付金事業の概要		耐震型防火水槽40m ³ 新設工事			
総事業費	7,190,640	交付金充当額		4,400,000	
		うち文部科学省分		0	
		うち経済産業省分		4,400,000	
交付金事業の成果目標		滑川市第4次総合計画後期基本計画において、消防施設・設備の充実が課題とされ、消防訓練施設の建設や消防車両の計画的整備等の施策を行い、対応しているところです。一方で既存の設備である当該申請に係る防火水槽について、道路拡幅工事に伴って撤去が必要となり、地域住民の不安とともに消防力の低下が懸念されます。 交付金を活用し、撤去する防火水槽と同容量かつ高い耐震性を有する防火水槽を新設し、消防水利を充実させることで、地域住民の安心感を担保するとともに消防力の向上を図ることにより、発電用施設の設置及び運転の円滑化のため、地域の理解を促進していきます。			
交付金事業の成果指標		交付金を充当する耐震型防火水槽新設工事について、以下の数値指標により評価します。 ・防火水槽の容量：消防水利の基準（40m ³ ）に準じること。（旧防火水槽と同規模） ・耐震性：大規模な地震にも耐える耐震性を有すること。			
交付金事業の成果及び評価		交付金事業を活用して新たに設置した防火水槽は、消防水利の基準である40m ³ を有し、大規模な地震にも耐える耐震性を有した防火水槽とすることで、地域住民の安心感を担保し、消防力の向上を図ることが可能となりました。			
交付金事業の契約の概要					
		契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
		構築物工事	指名競争入札	株式会社今家工務店	7,190,640
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無し					
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		無し			

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条に規定する同法の目的の趣旨を踏まえて具体的に記載すること。
 - (4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
 - (5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
 - (7) 成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。